

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

②施設・事業所情報

名称：	小学館アカデミー 南さいわい町保育園	種別：	認可保育園	
代表者氏名：	園長 吉岡 まり子	定員（利用人数）：	30（27）名	
所在地：	212-0016 神奈川県川崎市幸区南幸町3-97 リバーセンタービル2階			
TEL：	044-542-4151	ホームページ：	https://www.shopro.co.jp/hoiku/shisetsu/minamisaiwai/	
【施設・事業所の概要】				
開設年月日	2011年4月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）：	株式会社 小学館集英社プロダクション			
職員数	常勤職員：	11名	非常勤職員：	3名
専門職員	保育士	7名	栄養士	2名
	看護師	1名	調理員	2名
	用務員	0名	事務	1名
施設・設備の概要	居室数：	4	設備等：	保育室2室、調理室、事務室、バルコニー

③理念・基本方針

保育理念：あったかい心を持つ子どもに育てる
 基本方針：「思いやり」の気持ちを大切にします。
 「生きる力」を大切にします。
 「主体性」を大切にします。
 「好奇心」が伸びる環境を大切にします。
 「経験」「体験」を大切にします。
 一人ひとりの「得意」を大切にします。
 「ことば」の美しさ、楽しさを大切にします。
 「地域の関わり」を大切にします。

④施設・事業所の特徴的な取組

小学館アカデミー南さいわい町保育園は、JR南武線「尻手駅」から徒歩3分ほどにある認可保育園です。尻手駅は川崎駅の隣に位置していますが、閑静な住宅街であり、駅からすぐの商店街には歴史ある商店が並んでいます。1～5歳児対象の当園は、2011年に開設しました。

「あったかい心をもつ子どもに育てる」を全園共通の保育理念とし、「全体的な計画」と法人独自の保育プログラムを連動させた指導計画をもとに、職員は保育にあたっています。さらに、今年度からはドキュメンテーション保育も取り入れ、「絵本」をテーマに保育活動を展開しています。保護者には写真や紙面で知らせ、ねらいや内容を保護者にも感じてもらえるように取り組んでいます。

食育では、子どもたちが栽培して収穫したミニトマト、きゅうり、おくら等の野菜を使った献立を作成し、収穫した喜びや食べることへの楽しみを大切にしています。また、世界の料理や郷土料理を毎月提供し、日本の季節や行事のほか、世界の食事についても知ってもらう機会を提供しています。

地域交流では、尻手駅前の商店に協力してもらい、ハロウィンにお菓子を子どもに渡してもらったり、勤労感謝の日には消防署の出張所に訪問させてもらう計画を立てたりしています。

定員30名という小規模園の特徴を生かし、子ども一人ひとりとしていねいにかかわりながら、職員が一丸となって保育を行っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年5月18日（契約日）～ 2023年1月11日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3 回（ 2016 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆保育の質の向上に向けて、ドキュメンテーション保育を実践しています

法人独自の保育プログラムと連動させた「全体的な計画」に基づき、年間指導計画を作成しています。今年度は園長の考案により、「絵本」をテーマに法人独自の保育プログラムの実践に園全体で取り組んでいます。2か月ごとに絵本を選定し、各年齢に合ったねらいと活動内容の実践を職員に推進しています。内容について職員が悩んでいるときには、園長が助言をしながら決定しています。実践した保育はドキュメンテーションにより、担当職員が評価と考察をまとめ、職員の意見を反映させた「保育の質の見える化」となっています。このように、園長が中心となってドキュメンテーション保育を園全体で実践し、保育の質の向上につなげています。

◆「絵本」をテーマにさまざまな食育・保育活動を展開しています

令和4年度は「絵本」をテーマとし、年齢ごとに遊びを展開しています。5、6月は「そらまめ」をテーマにした絵本を取り上げました。1歳児は絵本の内容に関連させて、友だちと食べることや眠ることを経験し、園の楽しさを知ってもらいました。2歳児は「食材に触れる経験を持つ」をねらいとし、そらまめのさやを実際に見て触って皮をむき、大きさや匂い、形などを五感を使って感じてもらいました。3～5歳児も同じねらいで取り組み、春の匂いを感じながら大きさや色を感じ、みんなでむいたそらまめを並べて数え、364個もあることがわかりました。このように、同じ絵本からさまざまな活動に発展させ、子どもたちの興味を引き出しています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価機関による訪問調査受審で公平に専門的評価して頂く事により、利用して下さる保護者様に、より良い保育を提供していくための新たな気付きが得られる良い機会になりました。又、職員全員で『保育』を見直す機会となり、本社の運営方針や理念、地域の中で保育園の目指して行く方向性を再確認する事ができました。コロナ渦で前進できなかった3年…新しい保育園生活も考え工夫し、一步一步踏み出して参りたいと思います。そして、今後も保護者の皆様に頂いている信頼をこのまま維持し、より良い評価を頂けるよう努めて参ります。

最後に受審にあたりご尽力いただきました評価機関の皆様、ご多忙にも関わらず利用者調査にご協力頂いた在園児保護者の皆様に感謝申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり